

2025年4月14日(月)

第1部 (実演)

12:15～ 旧教養地区  
8号館中庭

※雨天時は8号館ピロティ

12:45～ 本館地区  
1号館前庭

※雨天時は法学部棟ピロティ

第2部 (トーク)

13:30～ 高原記念館  
学友ホール猿まわしの復活と  
その歩み  
実演とトーク  
〈道ゆく芸能〉  
無料

第1部 筑豊大介さんによる実演 (猿舞座)

第2部 話題提供：筑豊大介さん (猿舞座)

聞き手：太田恭治さん (あとりえ西濱)

事前申込不要 (直接会場にお越しください)

猿まわしは中世から続く祝福芸であり、被差別の宗教的芸能者がこれを担った。近代に入ると山口県のある被差別部落の生業として、多くの人が猿とともに旅をしたが、戦後に途絶えた。1970年代に小沢昭一や宮本常一らの援助をうけつつ、地域の部落解放運動の取り組みとして復活した。このうち「本仕込み」の方法をとった猿舞座の一員で、門司港を拠点に活動する筑豊大介さんを招き、実演の披露とともに、その歩みを回顧していただく。なお、聞き役を、リバティおおさか (大阪人権博物館) 学芸員だった太田恭治さんをお願いした。

共催 HRDP (Human Rights and Diversity Project): 人権と多様性を考える学生サークル  
(大学公認課外活動団体)

科研費研究「被差別部落をめぐる国際労働力移動についての学際的研究」(基盤研究(B)  
24K03168、研究代表者：廣岡浄進)

お問い合わせは人権問題研究センターまで <https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/>